

講義科目名称： 保育実習Ⅲ

授業コード：

英文科目名称： Nurturing Praticice III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
黒澤 祐介			
添付ファイル			

科目の概要	保育実習Ⅲは保育所等以外の児童福祉施設等での実習を行う。保育実習ⅠBでの体験を基礎に、より高い専門性を身につける。乳幼児を対象に主に日中の保育を担う保育所等と異なり、児童福祉施設等での実習では施設種別の多様性を理解し、配属される施設の機能や多様な専門性をもつ職員の専門性などについて理解する。配属先の状況について理解を深めたくえで指導担当職員の指導の下に実習を進めていく。
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童福祉施設等（保育所以外）の役割と機能</li> <li>2 施設における支援の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受容し、共感する態度</li> <li>(2) 個人差や生活環境に伴う子ども（利用者）のニーズの把握と子ども理解</li> <li>(3) 個別支援計画の政策と実践</li> <li>(4) 子ども（利用者）の家族への支援と対応</li> <li>(5) 各施設における多様な専門職との連携・協働</li> <li>(6) 地域社会との連携・協働</li> </ol> </li> <li>3 保育士の多様な業務と職業倫理</li> <li>4 保育士としての自己課題の明確化</li> </ol>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解する</li> <li>2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する</li> <li>3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する</li> <li>4. 実習における事故の課題を理解する</li> </ol>
授業の方法	児童福祉施設等における実習に10日間、かつ80時間以上参加する
成績評価の方法	実習先による評価（90%）、実習ノートの内容および面談内容（10%）
教科書・テキスト	大阪青山大学子ども教育学科教育・保育実習ハンドブック 保育所・幼稚園・児童福祉施設実習用 大阪青山大学 子ども教育学科 保育実習ノート
参考書	
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	施設実習に参加するにあたって、厚生労働省が定めた社会的養護関連施設の「指針」および「運営ハンドブック」を参照しておくこと
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に学ぶ姿勢をもって実習に参加すること</li> <li>・実習参加条件を満たさない場合には、参加できない</li> <li>・実習ハンドブックをよく読むこと</li> </ul>
オフィスアワー	火曜日3限
担当教員への連絡方法	y-kurosawa@osaka-aoyama.ac.jp
その他	